

ニュース 2021年6月～2021年7月



○今年上半期中国特許査定 33.8万件 対前年 55.9%増

中国特許権利付与(査定)の内外国別では、国内 285,051件(同 61.9%増)、外国 53,512件(同 30.0%増)である。因みに、中国実用新案登録公告は 1,327,128件(同 30.4%増)、中国意匠登録公告は 393,100件(同 7.9%増)である。(発信元:中国知財局)

○第二十二回中国特許賞

7月7日に中国知財局が公布した特許賞評価結果によれば、「参考信号測定のためのコマンド配置システム及び方法」等 30件の中国特許・実用新案に対し中国特許金賞、「カラー超音波診断器」等 10件の中国意匠に対し中国意匠金賞が授与された。また、60件の中国特許・実用新案に対し中国特許銀賞、15件の中国意匠に対し中国意匠銀賞が授与され、825件の中国特許・実用新案に対し中国特許優秀賞、56件の中国意匠に対し中国意匠優秀賞が授与された(発信元:中国知財局)

○第十四回中日韓米欧特許庁長会議

6月22～23日、中国知財局、日本特許庁、米国特許商標局、欧州特許庁及び韓国特許庁の長官は、テレビ会議を開催し、「2021年中日韓米欧知財五局長官連合声明」を発表した。(発信元:中国知産報)

○薬品特許紛争早期解決システム実施方法

中国薬監局、知財局が7月上旬に公表した該実施方法は、改正後中国特許法第76条(薬品販売申請中における特許紛争の解決措置)に応じて定められる、薬品特許紛争の早期解決に寄与するものである。公表日より施行される。(発信元:中国知財局)

○長江デルタ地域知財サービス連盟結成

連盟は7月下旬江蘇省常州市で結成。会員は、長江デルタ地域(上海市、浙江省、江蘇省及び安徽省からなる地域を指す)の16都市からの知財サービス機構から構成。(発信元:江蘇省知財局)

○2021 グローバル・ハイテック創新大会・知的財産権フォーラム

6月9日、陝西省知財局、西安市政府等の共催で西安で行われた。国内外の企業、知財事務所などからの代表 200人以上が参加した。(発信元:陝西省知財局)

訴訟案件 ミシン特許無効審判事件



中国知財局が今年5月に公表した2020年度中国特許審判10大事件の一つで、外国中国企業H社が所有する「横編機」という第201610534695.0号中国特許に対する無効審判事件である。

本特許は、2016年7月8日に出版し(優先日は2015年7月9日)、2019年1月4日に特許付与公告されたものである。

2020年2月19日に外国企業S社が、①発明は未完成である②請求項は不明確④進歩性を有しないことを理由にして、全請求項1～14において無効審判請求を中国知財局審判部に提出した。

審判部は、合議体を形成して2020年8月13日に無効審判請求関連書類をH社に転送し、同9月22日に口頭審理を行った。

H社は、出願書面を補正せずに、同9月18日、21日に、反論の意見書を提出した。

同12月15日に審判部は、無効理由は成り立たないとして、本特許をそのまま維持する旨の審決を下した。

審理中の主な争点は、請求項に記載の通用でないといわれる技術用語及び多義化とされる技術特徴をどのように理解するかにあった。

S社は、請求項に記載の「針鎖扣」(ドイツ語 Strickschlössern; 英語 rope lock)という言葉が「通用でない技術用語」なので、該当請求項が不明確となると主張した。しかし、審判部は、明細書及び図面から、それが通常に該当分野で言う「三角座滑架」(cam carriage)を指すと当業者が心得ることができるとして、S社の主張を認めなかった。

また、S社は、請求項に記載の「2種のガイドは互いに平行し合うように交互的に配置される」という特徴が引例に開示されていると主張した。ここで、「交互的に配置」の解釈に多義化が生じられた。審判部は、「交互的に配置」の方式は明細書の実施例に記載されている特定の方式であるというH社の主張を認めたくえで、前記特徴が引例に開示されていないという判定をした。(参考:審判委第47197号審判決定等)

豆知識 特許請求の範囲における用語の解釈(II)



一般に、請求の範囲に用いられる用語は、該当技術分野における通常意味で理解すべきであるが、特別なケースとして、ある言葉は、その特別な意味が明細書に示され、且つ、その使用により保護範囲が十分に限定されている場合、認めるべきであるとされる。(法準拠:中国特許審査基準第二部分第二章3.2.2)